

# 友好

ヨーハオ

北海道日中経済友好協会会報

「友好」第38号

令和5年7月7日発行

一般社団法人北海道日中経済友好協会

札幌市東区北43条東1丁目6-10 明哲ビル

TEL 011-299-1885 FAX 299-1886

## “コロナ解禁”を新たな経済交流のスタートに

日本政府は、この4月に中国からの入国者への新型コロナウイルスの水際対策を緩和。中国本土から直行便で来日する全員に義務付けていた出国前72時間以内の陰性証明を不要にし、ワクチンを3回以上接種していれば日本に入国することを認めました。一方、中国政府も4月に海外から中国本土に入る際に義務付けていたPCR検査を撤廃し、「ゼロコロナ政策」を終了しています。

両国の規制が解除されたことを受け、観光客を中心に日中間の往来に伴う環境はコロナ前の状況に戻ることができました。

3年の空白期間を経て、従来からの経済交流をどう再開し、いかに元の状態に戻していくかという段階が、やっとやって来ました。

\*

こうした中、中国では日本のアニメブームが止まりません。いま話題のアニメは「すずめの戸締り」で、3月から公開され、約1カ月での興行収入が7億5000万人民元、日本円にして146億円となり、日本での興行収入を上回ったそうです。累計観客数も2,260万人を超え、興行収入とともに、中国での日本アニメ映画の歴代1位を記録したことが伝えられています。4月から公開された「スラムダンク」はそれを上回る勢いとのことで、日本アニメの人气がしばらくは続きそうです。

\*

日本のアニメが中国で見られるようになったのは1980年代初頭です。一休さん、鉄腕アトムに始まり、多くのアニメが配給されました。人



中国で販売されているスラムダンクの単行本

気ベスト3はドラえもん、クレヨンしんちゃん、名探偵コナンとされています。

これらはアニメコンテンツの輸出と言ってしまうかもしれませんが、日本の風土や文化の紹介であり、さらに言えば日本人の心や国民性を理解してもらう上で大きな役割を果たしてくれていると受け止めています。

\*

北海道日中経済友好協会では、1986年から経済視察団を中国に派遣しています。現地を自分たちの目で確認し、中国の人たちと胸襟を開いて交流することが経済活動にはいかに大切かを実感してきました。残念ながら2019年の第19回を最後に休止が続いています。

コロナが明けた今年こそ第20回の訪中が実現し、コロナ禍を体験した日中の経済人が互いに励まし合い、相互理解をさらに深める新たな経済活動を、共にスタートする年にしたいと願っております。

令和5年度

## 第34回定例総会を開催

3年ぶりに対面で実施

北海道日中経済友好協会の令和5年度総会を、5月30日にプレミアムホテル-TSUBAKI-札幌で開催しました。コロナ禍で2年間は“書面開催”でしたので、久々に対面で行うことができ、24人の会員が参加。総会に引き続き行われた会員交流会でもマスク無しで話がはずみ、いずれのテーブルでも実のある情報交換で盛り上がりました。

総会では、令和4年度決算、5年度予算が原案どおり可決されました。また、木村輝美会長が任期満了により退任され、後任には理事の里見英樹さんが選出されました。



総会で挨拶する  
木村 輝美 前会長 ▶



◀ 久々に開かれた会員交流会では  
活発な意見交換が行われました

## 里見英樹新会長 会長就任ご挨拶



この度、私、里見英樹が木村輝美会長の後任として北海道日中経済友好協会会長を仰せつかりました。歴史と伝統に根ざしたこの組織の代表として、重要な役割を担うことに心を引き締めつつ、長年に渡って会の運営にご尽力いただいている理事の皆さま、会員の皆様とともに北海道における日中経済友好交流に努めることができることを喜びと感じております。そして、何よりもこれまで中国との友好関係を築いてこられた全ての会員の皆様の熱い心と努力に感謝の意を表します。

引き続き会員の皆様と協力しながら、新たなビジネスチャンスを創出し、交流イベントやセミナーを通じて情報交換や人的交流を促進していく所存であり、皆様のご支援とご協力を頂きながら、北海道日中経済友好協会のさらなる発展と日中の友好交流の促進に努めてまいります。皆様と共により良い未来へ進んでいくことを心から願っております。

令和6年6月吉日  
北海道日中経済友好協会  
会長 里見 英樹

\* 里見会長の就任挨拶(全文)は当協会のホームページでご覧いただけます。

## ホームページを開設しました。

北海道日中経済友好協会のホームページをご利用ください。

当協会の沿革やこれまでの活動の歴史、お知らせなどをご覧いただけます。

会員の勧誘などにご利用いただくとともに、皆さんからの情報提供をお願いいたします。

beihaidao-youhao.jp  
QRコードからもご覧  
いただけます。



## 北海道日中経済友好協会役員名簿

顧問	木村 輝美 (株)ロジネットジャパン 代表取締役会長)
会長	里見 英樹 (株)メディア・マジック 社長)
副会長	舟本 秀男 (株)財界さっぽろ 社長)
副会長	村松 弘康 (村松法律事務所 所長)
副会長	柏木 稔 (札幌通運(株) 会長)
事務局長	吉田 正博 (パワーリンク(株) 札幌支社長)
理事	鹿内 正孝 (株)玄米酵素 社長)
理事	小笠原 忠 (北海カイプロ(株) 社長)
理事	川端 宏一 (株)総合開発設計 社長)
理事	田 義之 (株)北海道資源開発 社長)
理事	富山 睦浩 (株)サッポロドラッグストアー 特別顧問)
理事	椿 武愛子 (有)椿武愛子オフィス 社長)
理事	名越 隆雄 (名越税務会計事務所 所長)
理事	寺内 達郎 (北海道テレビ放送(株) 社長)
理事	荒井 功 (株)ニトリパブリック 社長)
理事	張 相律 (株)北海道チャイナワーク 社長)
理事	加藤 哲 (MTJ観光(株) 社長)
理事	竹原 慎雅 (株)竹原鉄工所 社長)
理事	新山 将督 (株)イークラフトマン 社長)
理事	武井 文夫 (北海道文化団体協議会 ゼネラルアドバイザー)
監事	阿部 典紀 (SATO行政書士法人 代表社員)
監事	政田 治彦 (シティ環境(株) 社長)

## 北海道に恩返したい私

(株)北海道資源開発 代表取締役社長 田 義 之

今年日本と中国が平和友好条約45周年になります。この条約によって日本と中国の関係は様々な局面を経験してきました。その中でも、経済交流が拡大したことや、両国民間の友好関係が深まったことなど多くの分野で素晴らしい発展してきました。

この条約に基づき、中国から多くの留学生が日本に来ました。私も日中関係正常化のお陰で1987年に国費留学生として、中国の経済発展に貢献する願望で北海道大学大学院に入学、経済学部経営専攻の留生活経験をしました。その後帰国ができなくて、貿易会社を設立、北海道でアジア関係の国際貿易事業に専念しました。現在「株式会社北海道資源開発」の代表取締役社長として、経済活動を行いながら、30年近くも北海道日中経済友好協会理事として務めております。それに、長い歳月の日本生活経験を生かし、北海道と中国民間交流に貢献しようと思って北海道中国会代表、(社)北海道中国工商会理事長を務め、北海道の大自然で家族と一緒に楽しく仕事、生活しています。

日本と中国は隣国であり、両国の交流は古代から始まりました。日本は中国から多くの文化や技術を取り入れてきて、仏教や儒教、漢字などが伝えられました。その後、奈良時代に唐王朝と交流を深め、日本の文化や芸術に大きな影響を与えました。近代では戦争や政治的な問題もあり、一時的交流が途絶えた時期もありました。ただ、45年前に先代政治家達の努力で



田 義 之 さん

両国の関係正常化に実現し、その後日本政府と企業は中国の改革開放に伴う経済発展に積極的に参加し貿易、投資などの分野で経済的な協力関係を強化し、中国の経済発展に大きな貢献をしましたと多くの中国人は思っています。私は多くの中国出身の皆さんと同じく、日本の社会で経済活動、日常生活、北海道の皆さんとの交流を経験して、両国の経済交流と友好交流は続けなければならないと考えています。「中日友好は民によって政府を促がす」という言葉がありますが、両国の国民互いに理解を深め、信頼を築くことがとても重要だと思います。

最近、マスコミは政治動向に敏感に左右され、国民に大きな影響を与えたと痛感しています。特に最近、両国関係にマイナス的な報道は多くて、民間的な友好交流について避けているよう

に感じます。相手の国に悪いイメージの報道が多く、出身地の違いで差別するような人が増えているような気がします。私自身も余市の地方公務員から「お前は毛沢東国出身の人間、シナ人だよ」とヘイトスピーチ的な侮辱事件も経験しました。勿論、このような人に会うのは稀なことですが、ただ、先進国の公務員として違う国生まれの私にあまりにも悪意的な侮辱行為に心が痛んでおります。

私が代表としての「北海道中国会」は、北海道に在住する中国人や日本人の中国文化に興味を持つ人たちが集まり、中国と日本の文化を融合させたイベントや交流会を通じて参加者同士が交流を深める機会を提供しています。この会は中国文化を学ぶだけでなく、中国と日本の友好交流を深めることも目的としています。会員は中国籍の人や留学生、中国文化に興味を持つ日本人が含まれており、異文化交流の場として

も注目されています。日中両国国民は世々代々友好を続けられなくてはならないと信じて、これからも北海道地域の友好交流活動に貢献するよう努力し続けます。

北海道地域に経済貢献する目的としての(社)北海道中国工商会は多くの日本企業も参加しております。今年5月に会員の皆さんによる出資会社を立ち上げて、北海道の誇る特産品（農産品、海産品、畜産品）をはじめ、日本全国在住の華僑華人富裕層をターゲットに物販事業も始まり、北海道企業と一緒に北海道のインバウンドなど事業も始まります。これからも当会皆様からご指導と応援を宜しく願います。

私は北海道にきて留学、創業、子育てを通じて多くの友人ができ、36年間の人生はここで幸せに過ごしてきました。北海道大好き、北海道に恩返ししたいと考えています。



北海道中国会が毎年開催するゴルフ大会には多くの企業人が参加します

## 訪日外国人の将来型旅行に期待

MTJ観光株式会社 代表取締役 加藤 哲

### コロナ後の観光事業復活への期待

国が観光先進国に向けた取組の結果、2019年までインバウンドが飛躍的に増加するなど、地域や観光産業の活性化に寄与してきました。しかしコロナの影響により、年間4.8兆円まで達したインバウンド消費が一時的に消滅し、日本人の国内旅行消費は半減するなど、観光関連産業は深刻な影響を受けてきました。このため、国は国内観光需要の喚起のほか、観光地や宿の高付加価値化、デジタル化など、観光関連産業を多面的にご支援。昨年10月からは、全国を対象とした観光需要喚起策である「全国旅行支援」を実施してきました。全国旅行支援の実施により、日本人の延べ宿泊者数がコロナ禍前を上回った地域があるなど、高い需要喚起の効果が現れています。本年1月10日から、旅行需要の急激な変動の緩和を図るとともに、国は可



加藤 哲さん

能な限り長期的な支援を続けていくため、割引率等の制度を見直した上で全国旅行支援を実施することとしており、旅行需要の喚起を着実に進めています。但し、国が旅行支援を継続するには限界が有ります。日本の観光事業復活にはインバウンドの訪日外国人観光が不可欠と思います。インバウンドのお客様に人気のある北海道は期待が出来る地域です。



狸小路での買物のガイド

### インバウンド、アウトバウンドの回復

国内の水際対策が緩和されたことで観光産業は回復してきたが、中国のゼロコロナ政策の影響で、2019年の水準に戻るのには2024年以降になる」という見解を示しています。なお、2022年末ごろから、中国のゼロコロナ政策は随時撤廃され、2023年の春節大移動では去年の約2倍の旅客数が予想されていましたが、どの程度の効

果が実際に得られたかは未だ不明です。しかし、今後中国人旅行客の移動が活発になれば、インバウンド収支は徐々に回復すると思えます。2019年の我が国の訪日外国人旅行者が3,188万2千人のうち中国の訪日旅行者が959万4千人を占めております。したがって中国が通常回復しない限り、インバウンドは回復しません。

アウトバウンドについては外国為替市場では現在も1ドル130円前後で推移しており、コロナ前と比べると20円ほど円安が進んでいるため、2023年の海外旅行者数は840万人、平均消費額は円安と燃油費高騰の影響を受け、29万4900円、海外旅行消費額は2兆4800億円と推計しています。1人あたりの平均消費額は2000年以降で最高額となる一方で、海外旅行の回復は訪日客とは対照的に緩慢な伸びになることが予想されます。

### 中国側の送り手としての働き

日本と中国本土間の直行便数はコロナ前の2019年冬ダイヤで週1300便程度就航していましたが、今現在の直行便数はその1割に満たない状況です。日本政府による増便制限の撤廃を受け、日本航空が3月下旬以降の大幅な増便（週12.5便→64便）を発表するなど、航空便を増やす動きもあります。しかし、中国の大手航空会社の増便発表は今のところ限定的であるため、航空便数による観光客数の制約は残るのではないかと考えています。しかも中国人観光客全体に占める団体ツアー客のシェアは7割（2019年時）と一定のシェアを占めています。現在日本への団体ビザ申請は停止しており、ビザ発給の再開は不明です。現在個人へのビザは発給可能ですが、2019年時より審査が厳しい状況です。現地の各大手旅行会社は今年の夏以降徐々に緩和されることを期待している状況です。本格的に回復するのは2024以降になると思われます。

### MTJ観光が取り組もうとしている対策

コロナ後の旅行者は都市型滞在旅行が主なると思われます。理由としてはコスト含め自分たちの時間を大事にするという考えに切り替わっています。北海道なら札幌に長期滞在して札幌を軸に遠い所は一日観光ツアーに参加し、例えば夏なら富良野・美瑛コースや洞爺湖・登別コース、冬は旭山動物園コース等、交通インフラが整っている場所は自分たちで行動し、残りの時間は市内でショッピングする傾向にあります。将来はグループ旅行から個人旅行に変わっていくと言われています。コロナの影響でこの傾向は間違いなく、加速していくと私は考えています。これは日本人含め訪日外国人旅行者の将来型旅行と思われます。弊社としては小グループや個人のお客様をターゲットとして各旅行会社と提携してオンラインでの一日ツアーの旅行商品を販売していく方針です。これからも北海道を盛り上げていきたいです。



お客様の様々なリクエストに柔軟に対応しています。  
函館の奇岩の前で

## 令和4年度 中国私費留学生支援奨学金事業

令和4年度は、下記の3人の留学生に、1人につき10万円を支給しました。

楊 子 健（遼寧省）北海道大学大学院医学院消化器内科

瀋 嘉 琳（遼寧省）北海道大学大学院文学院

陳 秋 梅（江西省）小樽商科大学大学院商学研究科

### 奨学生レポート

#### 楊 子 健（遼寧省）

##### 北海道大学大学院医学院消化器内科

この度は、一般社団法人北海道日中経済友好協会奨学生に採用していただき、誠にありがとうございます。

私は、2018年に中国から日本に留学し、北海道大学大学院に在籍しながら、大学院生として学業・研究に取り組んでいます。研究については、近年、肝臓に対する分子標的薬等が多数承認され、切除不能な肝細胞癌の臨床では、マルチチロシンキナーゼ阻害剤（TKI）と免疫チェックポイント阻害剤（ICI）が一般的に使用されています。TKIは、腫瘍の発生と進行に関与するチロシンキナーゼの活性を阻害する薬剤の一種である。ICIは、T細胞の抑制ブレーキを解除し、抗腫瘍免疫応答をもたらすモノクローナル抗体である。2018年、日本ではレンバチニブの新規TKIが切除不能なHCCに対して承認されました。また、最近では、PD-L1抗体であるアテゾリズマブとVEGF-A抗体であるベバシズマブのICI併用療法が第III相臨床試験の

成功により承認されました。切除不能肝細胞癌に対して、レンバチニブやアテゾリズマブ+など多くの有効な治療法があるにもかかわらず、一旦全身療法が奏効した後の再発は依然として緊急の課題となっています。治療効果にかかわらず、ほとんどの患者さんは最終的に肝細胞癌の進行に至ります。したがって、レンバチニブやアテゾリズマブ+ベバシズマブで一旦奏効した後の進行の理由を明らかにするために、大学院の間にこれについて研究させていただきました。その成果の一部については、2022年1月に“Changes in Serum Growth Factors during Lenvatinib predict the post Progressive Survival in patients with Unresectable Hepatocellular Carcinoma”という論文名で、Cancers誌（IF:6.575）に第1著者として掲載されています。そして2023年1月に“Changes in Serum Growth Factors during Resistance to Atezolizumab plus Bevacizumab Treatment in patients with Unresectable Hepatocellular Carcinoma”という論文も掲載されていました。共同研究者と



して、携わった研究においても成果をあげており、多数の論文発表として具体的成果となっていました (Nutrients. 2021, Sci Rep. 2021, JGastroenterol. 2021, Hepatol Res. 2022)。

また、国際学会である“12th JSH International Liver Conference 2021”と“アジア太平洋肝臓学会 (APASL) Oncology2022”では、口演発表をしていました。

研究だけではなく、北海道にいる間にいろんな異文化を経験しており、視野を広げることもできました。皆様のおかげで、留学生活は充実楽しくできました。心からお礼を申し上げます、これからも引き続き皆様と仲良く友好を続けたいと思います。

## 潘 嘉琳 (遼寧省)

北海道大学大学院文學院

### 勉強と研究

私の育った家庭は経済的に裕福ではないため、日本での家賃や生活費はアルバイトで稼いでいます。この度、10万円の奨学金を頂いたため、学術発表と論文の締め切りが迫る際に、無理やりにバイトをせず、研究と勉強の方を優先することにしました。そのおかげで、2023年1月号の「北海道大学大学院文學院研究論集」で論文「村上春樹『騎士団長殺し』と歴史を発表することができました。また、修士論文「村上春樹作品における歴史的、戦争的な要素の変遷」も無事に提出でき、「鋭い批評精神に裏付けられた綿密な論述を展開している」と先生に評価され、口頭試問においても高い評価を受けました。

金銭面でも、時間的にも余裕を持つようになったため、2月の博士進学試験も無事に合格することができました。

もし10万円の奨学金を頂かなかったら、余裕がない状態で学年の最後にバイトと学業を両立するのはかなり困難だったと考えています。

### 家族のこと

80歳を超えた祖父母はビルの6階に住んでおり、歩行が日毎に困難になる祖父母にとっては、高い階に住むのはかなり不便です。祖父母を介護するために、一緒に住みたいと父親は考えましたが、金銭的に厳しかったため、部屋のリフォームをずっと先延ばしにしました。この度、私が奨学金を頂いたため、両親の方は余裕を持つようになり、部屋のリフォームにやっと着手しました。祖父母は来月、我が家に引越す予定です。

## 陳 秋梅 (江西省)

小樽商科大学大学院商学研究科

このたびは、一般社団法人北海道日中経済友好協会奨学生に採用していただき、心より誠にありがとうございます。

修士1年生の時は、私はできるだけ国際マーケティングに関する多くの専攻科目を履修していましたが、GPA (成績評価値) 3.54の優秀な成績を獲得しました。また、自分の研究にも



左から楊 子健さん、潘 嘉琳さん、陳 秋梅さん

専念し、ポスト・コロナ期間中の中国人観光客の行動について研究することを通じて、観光目的地と中国人観光客との距離を縮める手段を探ることを目的に、新たな観光形態であるクラウドツーリズムという広いテーマの中から、観光客がクラウドツーリズムに参加する満足要因を分析したいと考えております。そして、後期には、私は特に観光客行動や、コロナ禍における観光業の課題や取り組みなどに関して幅広く即存研究を読みました。

修士2年生では、卒業論文を中心に作成しながら、就職活動にも取り組んでいく予定です。現在は、修士論文のかたちでフレームワークを作成し、先行研究の整理段階にあります。

一方、私は暇な時間を利用してアルバイトをしています。ですが、勉強を前提として週に2回だけシフトに入っている状況です。経済的な不安を少し緩和するだけでなく、日本人とのコミュニケーションの機会を得て、自分の会話能力もますます向上させることができました。また、HIECCが行われた「留学生サポーター」の活動に参加して、北海道観光地の魅力や自分の留学生活などの情報をSNSで発信することで、多くの外国人を現地に呼びかけるように努めています。私は、これらの経験を通じて、北海道の観光資源や魅力を深く知り、地域社会に貢献できる人材となるよう努力していきたいと思っております。また、春休みの期間中には、日本文化を深く体験するために、東京国立博物館などを訪れ、日本文化を身をもって体験し、日本の古代歴史に触れることができ視野を広げました。この1年間は、非常に有意義で実りのあるものでした。

最後になりますが、ご支援して下さった全ての皆様に重ねて深くお礼申し上げます。

## 中国人私費留学奨学生支援事業 【募集要項】

【募集人員】 5人

【支給額】 1人10万円

【応募資格】

下記の条件を満たす人

1. 中華人民共和国国籍の人
2. 北海道内の指定する大学または大学院に在籍する私費留学生（研究生、聴講生を除く）
3. 人格が優れ将来の活躍が期待でき、日中友好に熱意のある人

【応募条件】

奨学金を受ける人は、次の義務を果たしてもらいます。

1. 現況報告書の提出
2. 奨学金授与式への出席

【応募方法】

下記の書類を当協会事務局へ郵送する。

① 履歴書

任意の用紙（A4版）に証明用顔写真を貼付の上、氏名、生年月日、出身地、学歴、職歴、家族構成、経済状況（仕送り等の収入・支出予定額、これまでに受けた奨学金、アルバイトの状況など）、現住所、連絡先電話番号・メールアドレスを記載する。

② 成績証明書

③ 指導教官の推薦状

④ 小論文 テーマは「私の留学目的」  
1,200字以内。

【募集期限】 令和5年6月30日

【選考方法】

書類審査ならびに面接により選考。

面接は7月中旬（予定）

【応募先】

〒007-0843

札幌市東区北43条東1丁目6-10 明哲ビル

一般社団法人 北海道日中経済友好協会

TEL. 011-299-1885 FAX. 011-299-1886